

## 「働き方を考える」

ワークライフバランス委員会 金子千紗

「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」というと仕事一筋の方もいれば余暇を重視する方、家族との時間を大切にしている方など様々だと思います。自分の理想とするワークライフバランスを実現するためには自身の「働き方」と向き合うことが少なからず必要になります。また、その「働き方」は各々に与えられた権利を使いながらライフステージに合わせて変化させていくことが必要であるとも考えます。

男女問わず理学療法士がライフイベントと仕事を両立し、社会に貢献できる人生を歩むために、就労環境の整備を図ることを目的として設立されたワークライフバランス委員会も発足から2年が経過しました。本委員会では、ライフイベントに関わる就労環境の問題を明らかにし、幅広く会員を支援することを目的に群馬県理学療法士協会の全会員を対象としたアンケート調査を実施しました。就労環境アンケート調査の結果報告書については群馬県理学療法士協会ホームページ内、会員ページに掲載してありますのでご確認いただけたら幸いです。アンケート結果からは各職場の抱える問題を鑑みることができたのと同時に男性の育児休暇取得が一般化していないことや、育児休暇から復帰後のフォロー体制が確立していないこと等の問題点が浮き彫りとなりました。

ワークライフバランス委員会ではアンケートの結果を受け、今後就労環境の改善に向け、社会保障に関することや育児世代に向けた情報発信や管理者対象の意見交換会の開催を予定しています。より良い就労環境を作る上で、権利を求めるだけでなく業務を全うした上で、スタッフ間でフォローし合える関係性を作ることができるかが重要な鍵となると考えます。

「働き方を考える」というテーマでここまで綴って参りましたが、私自身理学療法士としては4年目、育児も介護もしていませんが、ワークライフバランス委員会での活動を通し自らのライフステージの変化に合わせた「働き方」と向き合っていきたいと思います。